



ニュース 2021年

9

月号

発行日： 2021年 8月 29日
発行者： カトリック横須賀三笠教会
TEL： 046-823-0042
FAX： 046-823-1031

e-mail : mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp



「太陽と雨～真の多様性尊重の社会に向けて～」

みかさきょうかい しゆにんしさい はまさきさま
三笠教会 主任司祭 浜崎眞実

まだまだ残暑厳しい日々が続いて
います。ここ数年厳しい暑さと大雨
の被害が日常化しています。マタイ5
章43-45節には、太陽と雨がシン
ボルとして使われよく知られた箇所
があります。そこに登場する太陽は
古代オリエントでは法や正義の象徴
で、その法とは今ある秩序を守り
維持するものではなく「グルになって
いる集団を徹底的に解体し、
追い詰められているたった一人に
徹底して肩入れするもの」(木庭 顕)
です。旧約では「ツエデク」とか「ツダ
カー」新共同訳では「恵みのみ業」な

どと訳されています。今でもイスラエ
ルでは賽銭箱にツダカー(正義)と
記してあります。野宿している人も
「ツダカー(正義を)、ツダカー(正義
を)」と言って施しを求めるそうです。
雨についても、申命記11章8-12
節にはこれから入っていく約束の地
は「上の水」=雨に依存する社会で
あることを記しています。創世記
1章7節で「上の水」と「下の水」に
分けたと記されていますが、それは申
命記11章につなげて読むと「下の
水」に依存した社会と「上の水」に
依存した社会のことで、社会構造を

かた わか うえ
語っていることが解ります。その上で
うえ みず あめ いぞん しゃかい
「上の水」すなわち雨に依存した社会
やくそく ち りそう しゃかい
が「約束の地」=理想とする社会な
した みず いぞん しゃかい
のです。「下の水」に依存した社会と
たいが ちすいじぎょう すいがい
は大河から治水事業によって水害を
ふせ かんがい のうぎょう いとな
防ぎ、灌漑によって農業を営みます。
かんりよう じょうびぐん ぐんたい
そのため官僚と常備軍(軍隊)をも
おうせい がた しゃかい
つ王政によるピラミッド型の社会を
けいせい がわ
形成しました。それはナイル川とティ
りょうかわ ふたつ
グリス・ユーフラテス両河の二つの
たいこく ていこく しゃかい かた
大国(帝国)の社会のあり方のことで
しゃかいこうぞう ひてい
す。そのような社会構造を否定して、
で だっしゅつ
そこから出て(エジプト脱出とバビロ
ほしゅう きかん ひがしちゅうかい
ン捕囚からの帰還)、この東地中海
せかい ゆいいつあめ ふ ちほう
世界で唯一雨の降るカナアン地方
いま はい
(今のパレスチナ)へ入っていくという
ごしょ
のがモーセ五書のシナリオです。そこ
じゅう びようどう どくじせい
では自由と平等で独自性が
たも しゃかい ひと ひと すいへい
保たれる社会、人と人とが水平で
たいとう かんけい きず りそう
対等な関係を築くことを理想とした
うえ みず いぞん しゃかい
ことを「上の水」に依存した社会で
ひょうげん
表現しています。

しょう たいよう あめ
マタイ5章の太陽と雨のシンボル
わ へだ ちじょう ふ そそ
は、分け隔てなく地上に降り注ぐイメ
かみ かんたい あらわ
ージから神の寛大さを表すだけでは
せいぎ じつげん ひと ひと
なく、正義の実現によって人と人と
すいへい たいとう かんけい い
が水平で対等な関係で生きていける
しゃかい めざ けつい
社会を目指すというイエスの決意で

かんぜんちようあく いん がおうほう
もあります。勸善懲悪と因果応報の
かみりかい もと はいじよ にちじよう
神理解に基づく排除が日常にも
およ せかい いっせき とう
及んでいた世界に一石を投じたので
たようせい そんちよう しゃかい
す。それは多様性の尊重される社会
よわ たちば お ひと きほんてき
は、弱い立場に置かれた人の基本的
じんけん まも しゅちよう
人権が守られてこそだという主張な
ねんまえ よぼうほういけん
のです。20年前のらい予防法違憲
こくばい そしよう げんこくしようそはんけつ
国賠訴訟の原告勝訴判決のとき、
げんこく ひ の こうき よ たいよう
原告の日野弘毅さんが詠んだ「太陽
かがや し しょうかい
は輝いた」という詩を紹介します。

たいよう かがや ねん なが なが
太陽は輝いた 90年 長い長い
くらやみ なか ひかり はし
暗闇の中ひとすじの光が走った
せんれつ かた いわお くだ
鮮烈となって 硬い敵を砕き
ひかり はし
光が走った
わたし うつむ
私は俯かないでいい
ひかり なか むね は ある
光の中を 胸を張って歩ける
わたし うつむ
もう私は俯かないでいい
たいよう かがや
太陽は輝いた

きょうかいいいんかい
8月の教会委員会

かいさい きょうかいいいんかい ほうこく
8月1日(日)に開催された教会委員会の報告です。

てんれいれい きょうじ
I. 典礼暦と行事

てんれいぶかい
8月1日(日)典礼部会

しゅ へんよう
6日(金)主の変容 ミサ 9:15

ふくいんせんきょうぶかい
7日(土)福音宣教部会

せいぼ ひしやうてん はつせいたい ご ちゃかい
15日(日)聖母の被昇天 初聖体 ミサ後お茶会

ふくいんせんきょうぶかい
9月4日(土)福音宣教部会

てんれいぶかい
5日(日)典礼部会

あき ついとう みかさきょうかいせいどう
25日(土)秋の追悼ミサ 10:00 (三笠教会聖堂)

ぼち のうこつどうかんりいんかい みかさ おおつ みうらかいがん
墓地・納骨堂管理委員会による 三笠・大津・三浦海岸の

きょうかいごうどう ついとう
3教会合同の追悼ミサ

そうぎ はまさきしんぶ こうわ ごせいどう
26日(日)「カトリックの葬儀とは」 浜崎神父による講話 (ミサ後聖堂)

きょうぎじこう
II. 協議事項

いってい きじゆん もう みなお けっか しんせつ
1. 一定の基準を設けレターケースの見直しをしました。その結果、新設するレター

はず げんざい ひきだ いち ばあい
ケースと外すレターケースがあるため、現在の引出しの位置が変わる場合もあり

あらかじ しょうちくだ
ますので、予めご承知下さい。

ことし ま あ うまご や しんちよう
2. 今年のクリスマスに間に合うように「馬小屋」を新調することにしました。

こんご つく けんとう はじ
今後チームを作り検討を始めます。

ほうこくじこう
Ⅲ. 報告事項

れいねん がつ おこな けいろう ことし ちゅうし
1. 例年9月に行われる「敬老ミサ」は、今年も中止です。

はしばやまと はつせいたい う
2. 8月15日(日) 羽柴大和さんが初聖体を受けました。

じかいきょうかいいいんかい
次回教会委員会 2021年9月5日(日)11:15から

ついとう
追悼ミサについて

ぼち のうこつどうかんりいいん あべ としみつ
墓地・納骨堂管理委員 阿部 寿満

ことし あき ついとう みかさきょうかいせいどう おこな
今年の秋の追悼ミサは、9月25日(土)10:00から三笠教会聖堂にて行われます。

きょうかいぼち のうこつどう みかさ おおつ みうらかいがん さんきょうかい きょうどうしやう
教会墓地・納骨堂は、三笠・大津・三浦海岸の三教会の共同使用であるため、

まいとしおこな はる あき ついとう さんきょうかい いいん こうせい
毎年行われる春と秋の追悼ミサは、三教会の委員で構成されている

ぼち のうこつどうかんりいいんかい しゅさい
墓地・納骨堂管理委員会が主催してまいりました。

こんご さんきょうかい きょうどうせんきょうしほく 心 とも な かたがた しの
今後も三教会の共同宣教司牧を踏まえて、共に亡くなられた方々を偲び、

おも いの おも
思いをひとつにしてお祈りをしたいと思います。